年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 古文演習

教　科：　国語　　科　目：　古文演習　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（　大元　理絵　）（　飯室　綾乃　）

使用教科書：　新編古典探究（東京書籍）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　社会で生きるために、また人生の豊かさを実感しながら生きるために必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　古文演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 大鏡（一） ［知技］古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ，ウ ［思判表］読むこと「読むこと」に	・歴史物語としての『大鏡』の特色を簡略に理解する。			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深める。	○	○	○	15
	B 大鏡（二） ［知技］古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ ［思判表］古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。読むこと⑴ア，イ，ウ，エ，カ	・歴史物語を背景に注意しながら読み，作品についての理解を深める。			○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深める。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	C 和泉式部日記 ［知技］文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ ［思判表］書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈している。読むこと⑴ア，イ，ウ，ク	・表現に注意しながら読むことを通して，作品の特色を多面的・多角的に理解する。			○	【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	15
	D 紫式部日記 ［知技］文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ ［思判表］構成や展開などを的確に捉えている。読むこと⑴ア，イ，エ，カ	・作品の背景を踏まえながら日記を読み，内容の解釈を深める。			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作品の背景を踏まえながら日記を読み，今までの学習を生かして，内容の解釈を深めたり，作品の特徴を理解したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2学期	E 万葉秀歌 ［知技］言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ ［思判表］内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。読むこと⑴	・表現の特色を踏まえながら，上代の和歌の内容を読み取る。			○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	15
	F 源氏物語 ［知技］古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズムについて理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ，エ ［思判表］内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。読むこと⑴ア，イ，ウ，カ，キ，ク	・作り物語を多面的・多角的な視点から読み，作品についての理解を深める。			○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に上代の表現の特色を理解し，今までの学習を生かして，和歌の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	G 源氏物語 ［知技］古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズムについて理解を深めている。⑴ア，イ，ウ，エ／⑵ア，イ，エ ［思判表］内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。読むこと⑴ア，イ，ウ，カ，キ，ク ○活読むこと⑵イ	・作り物語を多面的・多角的な視点から読み，作品についての理解を深める。			○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	15
					○		○	○	○	15

					○	正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
3学期	Ⅰ【課題学習】 副教材のテキストの中から選んで問題解決の方法を研究する。	・社会背景にも留意して，筆者の価値観や問題意識について考察を深め文章にまとめる。		○	○	【知識及び技能】 ・先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品を積極的に調べ，今までの学習を生かして調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。	○	○	○	16
										合計 140